

松平春嶽をめぐる女性たち

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成18年5月10日(水)～7月18日(火)

すこし前までの日本の家庭では、一般的に「家」を中心とした男系社会でした。また、社会組織も男性と血縁が優先されましたから、家督をつぐ男子が家に誕生しないことは家の存続自体が危ぶまれたのです。武士階級でもとくに藩主と呼ばれる「殿様」は多くの奥さんを娶り、確実に子たちをもうけなければなりません。奥さんには正室と側室があり、その地位は実家の身分と世継ぎの生母であるかどうかにかかっていたのです。

幕末16代藩主の松平春嶽にも熊本藩主細川家より迎えた勇姫という正室がいましたが、嫡男は側室が産んだ子供でした。また、春嶽の生母も父、田安(徳川)齊匡(なりまさ)の側室、青松院でした。

文久3年(1863)3月、春嶽が越前松平家の養子となり藩主を継いだあと、春嶽は願いにより生母、青松院を実家田安家より福井城へ迎えて孝養を尽くしています。春嶽には六人の実娘がおり、成人した四人娘は旧大名家の夫人となりました。実家の姉妹もやはり大名家に嫁いでいます。

春嶽に仕えた奥老女など、福井藩の女性たちも春嶽を育み支えました。こうした、春嶽をめぐる女性たちをテーマとして関係資料を紹介しています。

春嶽も女性たちの存在や協力がなければ藩主としてまた政治家や文人として存分な活躍ができなかったのです。

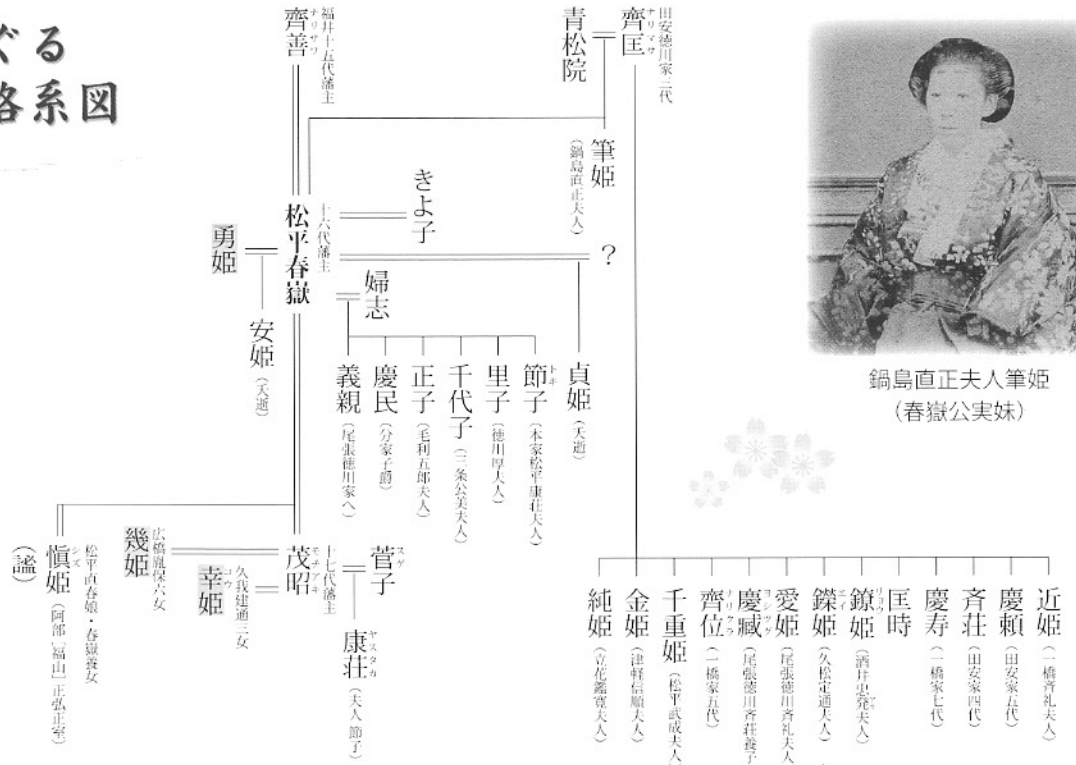


薄萌黄色縮緬地(御所車に草花流水模様縮小袖)

松平春嶽をめぐる女性たちの略系図



酒井忠発夫人鏡姫(春嶽公実姉)



※■=正室、□=側室、■=後妻(正室)、=は婚姻関係、||は養子

系図横列の出生順は不同です。



鍋島直正夫人筆姫(春嶽公実妹)

展示品目録

	資料名	員数	所蔵	備考
1	青松院肖像写真（ガラス湿版）	1点	春文	舶来ケース入り
2	青松院遺品	1括	春文	
3	宣徳大手炉 銘「大明宣徳年製」	1基	春文	
4	香箱・香木	1括	春文	
5	青松院（通子）筆「長月や」云々の和歌幅	1幅	春文	
6	勇姫肖像写真（ガラス湿版）	1点	春文	舶来ケース入り
7	薄萌黄色縮緬地御所車に草花流水模様繡小袖	1領	春文	
8	白縮緬地紗綾形文風藤桜牡丹模様繡小袖	1領	春文	
9	勇姫手沢品舶来ガラス製文鎮	1具	当館蔵	徳川春子氏寄贈
10	松平春嶽手記『京都日記』	6冊	春文	
11	隠九曜紋村梨子地菊流水模様蒔絵箱入『源氏物語』	53冊1箱	越文	
12	薙刀（付、黒地牡丹唐草模様九曜紋付鞘）	1振	越文	
13	佐野常成筆勇姫肖像画（油彩）	1額	越文	
14	横井小楠筆「表黒裡紅」云々の詩幅	1幅	春文	
15	『春嶽遺稿』より「歌集」	1冊	当館蔵	松平侯爵家蔵版
16	松平婦志遺品写真類	1括	春文	
17	松平婦志遺品類	1括	春文	
18	村梨子地芙蓉鳥模様提重	1式	春文	松平婦志旧蔵
19	交趾焼蟹形筆架	1具	春文	松平婦志旧蔵
20	松平春嶽著『逸事史補』	1冊	春文	
21	徳川義親著『最後の殿様』	1冊	当館蔵	昭和48年9月 講談社
22	松平春嶽筆『佛説阿彌陀經』写本	1冊	春文	
23	橘曙覧筆「安姫の葬列を見奉る」弔歌懐紙	1枚	当館蔵	
24	松平春嶽筆貞姫供養の幅	1幅	春文	
25	松平春嶽実娘松平節子・徳川里子・毛利正子・三条千代子肖像写真	8枚	春文	
26	毛利正子遺品「葵唐草紋散小筆筥」	1棹	当館蔵	森 綾子氏寄贈
27	三条千代子筆『松平春嶽全集』扉絵	1幅	春文	
28	三条千代子筆「柳桃飛燕の図」	1幅	春文	
29	松平家一家寄せ書き	1幅	越葵文庫	明治12年1月
30	松平幾子・幸子肖像写真	2枚	春文	
31	勇姫・幾姫・筆姫書簡松平春嶽宛	1巻	当館蔵	
32	鏡姫・筆姫・純姫肖像写真	2枚	春文	
33	鍋島直正夫人筆姫消息	5通	春文	
34	芳野菅子手記『常磐廻古言』	1冊	春文	
35	芳野菅子肖像写真	1枚	春文	

※資料保護のため、展示品が入れ替わることがあります。

越文：越葵文庫、春文：福井市春嶽公記念文庫

👁️ 見どころ講座

「松平春嶽をめぐる女性たち」

- 日時 平成18年6月17日（土）
午後2時～
- 場所 当館2階講堂
- 担当 角鹿尚計（当館学芸員）

🏯 次回の展示

特別展

「越前松平家と大安禪寺」

7月22日（土）～9月3日（日）

松平家史料展示室 展示解説シート No.19

平成18年5月10日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1

電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489

担当 角鹿尚計

制作/創文堂印刷株式会社 (0776) 22-1313